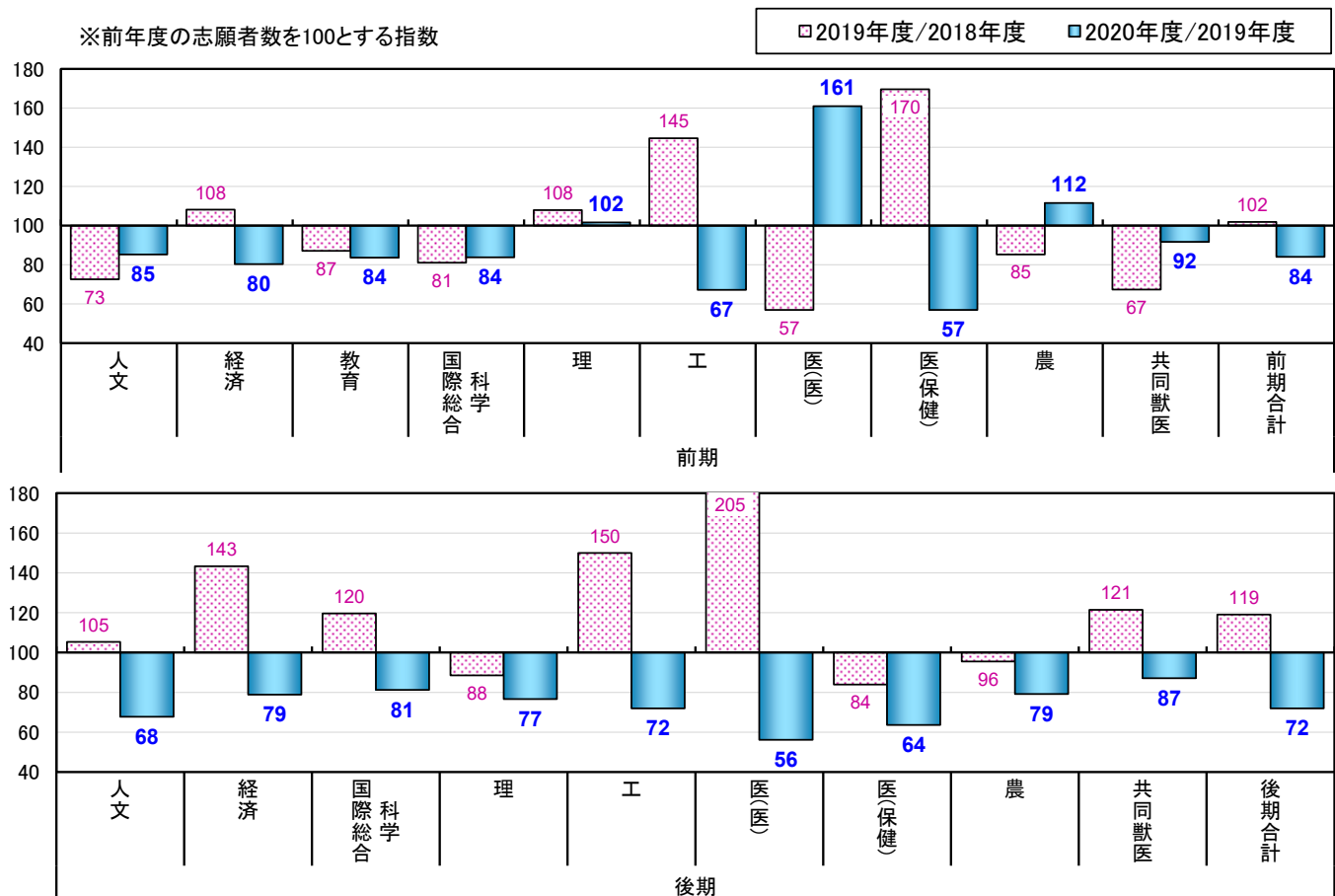


2020年度入試状況分析【国公立大】

山口大：前期・後期ともに大幅減少、いずれも改組後最少 前期：-586人 後期：-978人



入試変更点

選抜方法：医(医)〈地域枠〉〈後〉…0人→3人 ※地域枠新規実施
 募集人員：医(医)…〈前〉60人、〈後〉10人→〈前〉55人、〈後〉7人
 センター：農(生物機能科学)〈前〉…国+歴公+数2+理2((物 or 化 or 生 or 地学)→2)+外
 →国+歴公+数2+理2(化+(物 or 生 or 地学))+外 ※理科の化学が必須へ
 個別：農(生物資源環境科学)〈前〉…数+理→数 or 理
 (生物機能科学)〈前〉…数+理→数 or 理

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は586人(84)の大幅減少で2年ぶりの減少。志願者数は3,000人をわずかに上回ったが、2015年度の改組後では最少。後期は978人(72)の大幅減少で、全ての学部で減少し、2年ぶりの減少。志願者数は2,500人をわずかに上回ったが、前期同様に2015年度の改組後では最少。

- <前期日程>
- 人文(85)は、2年連続大幅減少。志願者数は280人を下回り、志願倍率も2.4倍までダウン。
 - 経済(80)は、2年連続増加の反動で大幅減少。
 - 教育(84)は、系統への低い人気から2年連続減少、志願者数は330人を下回り、2015年度の改組後では最少。コース・選修別では、17コース・選修中3コース・選修のみが増加。特に、(学校教育/教科教育-家政教育)(345)は3倍増以上の激増、(学校教育/情報教育)(135)は大幅増加。一方で、10コース・選修が大幅減少。特に、(学校教育/小学校教育-国際理解教育)(33)は3分の1の激減、(学校教育/教科教育-理科教育)(46)は半減以上。
 - 国際総合科学(84)は、2年連続大幅減少。志願者数は開設初年度の2015年度に次ぐ少数だった。
 - 理(102)は、微増だが2年連続増加。学科別では、4学科中3学科が増加。(物理・情報科学)(179)は大幅増加、一方で(数理解科学)(67)は大幅減少。
 - 工(67)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少、志願倍率は3.4倍→2.3倍にダウン。学科別では、7学科中2学科が増加で、(循環環境工)(159)、(感性デザイン工)(118)はいずれも大幅増加。一方で、(応用化学)(40)、(機械工)(51)、(電気電子工)(58)は40%を超える大幅減少。大きな増減はいずれも前年度の反動。
 - 医(医)(161)は、2年連続大幅減少の反動で大幅増加。募集人員減少も重なり、志願倍率は3.2倍→5.6倍にアップ。
 - 医(保健)(57)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。専攻別では、2専攻のいずれも大幅減少。
 - 農(112)は、2016年度以降前年度の反動による増減が継続して増加。学科別では、(生物機能科学)(149)が大幅増加、(生物資源環境)(80)が大幅減少と対照的。
 - 共同獣医(92)は、前年度大幅減少に引続き減少。

2020 年度入試状況分析【国公立大】

<後期日程>

- 人文(68)は、2年連続増加の反動で大幅減少。志願倍率は3年ぶりに10倍を下回った。
- 経済(79)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。
- 国際総合科学(81)は、2年連続大幅増加の反動で大幅減少。
- 理(77)は、2年連続大幅減少。学科別では、4学科中すべてが減少、特に(数理科学)(67)、(生物・化学)(68)は大幅減少。
- 工(72)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。学科別では、7学科中1学科のみ増加、その(感性デザイン工)(123)は大幅増加。一方で、(応用化学)(31)は3分の1の激減、(循環環境工)(66)、(電気電子工)(71)はともに大幅減少。
- 医(医)(56)は、40%以上の大幅減少。2016年度以降、前年度の反動による大幅な増減が継続。
- 医(保健)(64)は、2年連続大幅減少で、志願者数は4年ぶりに200人を下回った。専攻別では、2専攻のいずれも35%以上の大幅減少。
- 農(79)は、大幅減少で2年連続減少。学科別では、前期と同様に(生物機能科学)(172)が大幅増加、(生物資源環境)(60)が大幅減少と対照的。
- 共同獣医(87)は、2015年度以降前年度の反動による増減が継続して減少。